

## 区別と差別の違い

中 一

私の家ではよく、性別や人種の「区別」と「差別」の違いについて、話し合うことがある。というのも、私と母は海外のドラマや映画をよく見ているので、その影響が大きいからだ。「区別」とは、単に個人一人一人の違いによって分けていること。「差別」とは、人や物の取り扱いに差をつけることであると考ええる。ドラマや映画を見ている、実際にそういった場面になったとき、今は区別だったのか、私にはよく分からず、判断が難しい事柄も多く存在する。

例えば、最近あったことと言うと、体力測定で行った持久走が挙げられる。持久走は五百メートルだけ男子の方が距離が長い。理由としては、男女の体格差や成長の度合いなどを考慮してのものではないかと私は考える。しかし、私のように運動が苦手で自信がない男子もたくさんいる。私は、ほんの少しだけ、女子をうらやましく感じてしまった。

人権について考えた際に、この話を母にした。母は、

「昔からの慣習かもね。」

と言っていた。また、

「男女の体力差を考慮して、もし同じ距離にしてしまうと、これまで蓄積された記録のデータが使えなくなることもあるのかもしれないね。」  
など、二人で話し合った。母が中学生の頃も、このような差があり、

「男子には悪いが心の中でラッキーだと思っていた。」

とも話をしてくれた。

「令和の時代にいろいろなことをアップグレードしていかないといけないと思うけれど、何が正しいか分からないことが多くて難しいね。」  
とも言っていた。

考えれば考えるほど、難しい問題である。「区別」とされていることでも、人によっては「差別」に感じることもあるし、反対に「差別」を「区別」と言い張る人も世の中にはいる。また、そういった「差別」を盾に悪事を働いている人たちもいると聞いた。こういった人たちがいることではない

ろな問題が、より難しく、複雑になってしまっているのだと感じた。そして、「差別」されていると感じている人たちだけへの配慮ではなく、周りの人たちへの影響、配慮も必要なのかなと思う。この全てをクリアすることは難しいことだなと感じた。

今、私に通っている中学校では制服を自由に選べる。私はそれに対して今までは、特に何も考えていなかった。しかし、性別に関係なく制服を選べるといことが、寒いからズボンを履きたいという人たちにとってだけでなく、スカート履きたいという人たちにとっても、「区別」や「差別」を乗り越えた、とてもよい取り組みだと思った。

そして「区別」や「差別」は難しい問題であり、何が正解なのだろうと思っていたけれど、学校で制服が好きなように選べるということが、当然のように広まっていけば、長い時間をかけてよい方向に進んでいくのかもしれないと考えるようになった。

すべての事柄を、クリアにしていくことは難しいかもしれないが、多少の妥協や思いやり、一人

一人が意識と努力をしていくことで今よりさらによい世界、環境を創っていくことにつながるのではないだろうかと思う。

私は今まで「人権」について、じっくりと考えたことはなかったが、こうして「人権」について意識することによって、私自身も全世界の人々が安心、安全に生活できる社会づくりに貢献していきたいらよいと思う。これからも様々な事柄に問題意識をもち、じっくりと考えを深めていきたい。